

書籍紹介

『脳のひみつにせまる本』（全3巻）

川島隆太 監修 こどもくらぶ 編

ミネルヴァ書房 2015年

脳のはたらきや構造を調べることができるようになったが、それでも脳には、わかっていないことがまだまだたくさんある。知れば知るほどおもしろい、脳のふしぎを見ていく本。豊富な写真や図で、子どもも大人も面白く読めるシリーズである。

全3巻のタイトルは下記のとおり。

- 「1 脳研究の歴史」
- 「2 目で見る脳のはたらき」
- 「3 脳科学の最前線」

第1巻では、ミイラをつくるときに脳が捨てられていた古代エジプトから、脳の画像化技術が進み、生きている脳のはたらきを見ることができるようになった現代にいたる脳研究の歴史を紹介。

第2巻では、脳の構造やしきみ、はたらきについて、「人間の脳と動物の脳」「左利きと右利き」「夢と脳の関係」など、さまざまなトピックをまじえ、くわしく解説していく。

第3巻では、近年、現代科学によって解きあかされてきた脳のひみつについて、「理系と文系の脳」「脳をきたえる」「スマホと脳の関係」「人工知能」など、さまざまな例からせまっていく。